

ばってん

事務長会報第50号

令和3年10月1日

長崎県公立学校事務長会
長崎県立長崎南高等学校内

〒850-0834

長崎市上小島4-13-1

電話 (095) 824-3134

『閑話三題』

会長（長崎南高等学校）岩永 正弘

「櫻花の情熱的なる、桃花の艶情的なるに比すれば梅花は理知的である。身世匆忙として変転極まりない時代に處するは容易なことではない。人はその時代的特性に眼鏡の度を合わせる必要があるが、その目は飽くまで高きを望む客観的鮮明さを持たねばならぬ。足下の混乱に意志の自由を失い、複雑なる事態に批判力の不健康に陥ることは創造的生活と縁を絶つことに他ならぬ。常に省みてその放心を求め、思うて無限の真実に迫らなければならぬ。梅は愛を内容とする知性に輝く花である。」

これは、前任校（佐世保南高校）の初代校長・照屋亀三先生による生徒会誌創刊号への寄稿（抜粋）である。時折学校だより等で紹介されるため、卒業生や勤務経験がある方などはどこかで目にされたことがあるかもしれない。生徒会誌の号数とともに成長し、厳しい時代を生きていく生徒たちへの訓言だと、当時の時代背景を想像しながら勝手に解釈するが、コロナ禍という未曾有の事態においてこの普遍的な理念に私も気付かされる場所があり、記憶に残るものとなった。寛容さを忘れ誹謗中傷が蔓延する現代にあって、真実を見極める力・正しい判断力を身につけることの大切さは、今に通じるものがある。

かつて以上に「変転極まりない時代」となったが、せめて季節の花木に目を向けるくらいの心の余裕は持ち続けたいと思う。

6月、国家公務員の定年を65歳に延長する改正国家公務員法が成立した。人事院が定年延長についての「意見の申出」を行ってから約10年になると記憶するが、この間の社会情勢の変化を見れば仕方がないと思いつつ、制度改正には本当に長い年月を要するものだと感じた。一方で地方公務員は「国の職員の定年を基準として条例で定める」との規定から、最終的には条例の改正を待つことになるようだ。さて、自分はどうなるのかと改正法の概要を見てみた。該当している！長年〇〇ジャンボに見放され、年金が支給されるまでは何某かの仕事をせざるを得ないのだろうと考えてい

たが、とりあえず1年間はその機会が与えられそうである。とは言うものの、改正法の目玉のひとつ「役職定年制」が導入されることになっている。組織活力を維持するためとの理由に「若い者にはまだまだ…」という言葉が頭をよぎるから、やはりそういうタイミングなのかと苦笑してしまう。働き方としては今の再任用みたいなものだろうと想像をしているが、7割支給となる給料はともかく、即戦力たり得ない能力に不安は増してくる。後輩に迷惑をかけながらも定年を全うするのか、第2の人生を模索するのか。果たして難問と真剣に向き合わなければならぬ年齢となってきたが、当面は事務長職を全うすることに精進するとしよう。

「時を越えて繋がったもの」後日談

この会報に、以前そのようなタイトルで高校時代の思い出話を掲載していただいたことがあった。文化祭で元寇に関する展示を行ったというものだったが、次の異動から数か月が経過したある日、一人の卒業生が同窓会関係の用件でと来校された。何となく見覚えのある容姿に名刺を受け取り納得した。37年ぶりの再会となった当時の担任であった。残念ながら私のことはあまり覚えておられなかったが、話をするうちに文化祭で元寇についてのクラス発表をして表彰されたことがあったと言い出され、話がつながった。私たち生徒にとっては本当に思い出深い文化祭であったが、担任にとっても記憶に残るものだったことを知り嬉しくなった。ちなみに、表彰の記憶は私には無い…。

長崎南高校は今年創立60周年を迎えている。コロナ禍で不自由な教育活動を余儀なくされているが、記念行事の一環として実施される体育祭や文化祭が、生徒や先生方の一生の思い出として心に残るものであってくれることを願っている。



「回想」

鳴滝高等学校 山本 忠敬

仕事で追い込まれたことも2度や3度にとどまらず、よくぞここまでと思うことしきりの38年間だった。昭和59年4月、長崎南高校を振り出しに、勤務したところは高校4校12年間、県教委が延べ12課室等26年間となった。2～3年に1回は「よろしく申し上げます。」「お世話になりました。」を繰り返していたことになる。目まぐるしくもあったが、生来飽きっぽい性格なので、結果として自分にはちょうどよかったとも思っている。

新任初日の仕事は、授業料の調定だった。調定の言葉の意味さえわからず、前年度の書類を見ながら悪戦苦闘、いろいろ調べ考えていたらあっという間に1日が終わっていた。最初のうちは仕方がないと、先輩方はやさしく接してくれた。とりわけF先輩には大変お世話になった。知らないことは無いのではと思うくらい制度に精通しておられ、質問すれば条例規則等を踏まえた確実に教えていただいた。

F先輩は秘密兵器を持っていた。綴った資料に目次を作り、情報が即引き出せる独自の資料集だった。見ていざと言われたので、まるごとコピーさせていただいた。この資料をベースに少しずつ書き足して、自分なりに使えるものにしていった。見習う人を持ち、調べて記録する、気付きがあれば書き留めるは、その後の私の約束事となった。いくつもの職場を渡り歩く中で、たくさんの魅力ある方々と出会い、多くのことを学ばせていただいた。辛い時もあったが、思い出深い仕事、特に中国・韓国各3回の出張を通じた交流も経験できた。また段取りの大切さも身に染みてわかった。人との出会い、仕事との巡り合いという点では、自分は本当に恵まれていたと思っている。お世話になった皆様から心より感謝申し上げたい。

取り留めもない回想となってしまったが、残された時間も少なくなった。これまで自分に授けていただいた仕事の術を、日々の仕事を通してしっかりと後輩の皆さんに伝えていきたいと思っている。



おもうこと

諫早東高等学校 橋口 智恵子

○はじめは…

夫に先立たれ、残された小さな果物屋を細々と続けていた母は、私と姉が揃って県に採用されたとき、「社会保険のある仕事について！（共済組合という言葉は当然知らない。）」と、とても喜んでくれました。そのときに一生分の親孝行ができました。（実際はその後もさんざん迷惑をかけ続けたのですが。）



諫早東校の四季

○いまは…

今話題になっているBTS（韓国の7人組男性グループ）をご存じですか。

米ビルボード1位など快進撃を続けていますが、夏に流行ったポップな曲だけでなく、心を打つたくさんの曲があり、励まされます。例えばつらく悲しいとき、「So What（それがどうした?）」、「I'm Fine（ほくは

大丈夫）」、「You Never Walk Alone（君は決して一人じゃない）」、「00:00 [Zero O' Clock]（午前0時）」になれば今日が終わり、明日は幸せになるよ、「Life Goes On（日々は続く）」から、「EPILOGUE：YOUNG FOREVER（永遠に少年の心のままで）」、「Answer：Love Myself（自分自身を愛そう）」、などなど、寄り添ってなくさめてくれるような歌詞に涙が出ることもあります。

○おわりは…

短大を卒業後採用されて40年。事務長さんから、すぐに辞めた方がいいとこっぴどく叱られたダメ事務職員を雇い続けてくれた長崎県と、亡き先輩方、ご健在の先輩方、現役の事務長様方、日々頑張っている事務職員の方々、お世話になった全ての皆様から心から感謝してお別れしたいと思います。本当にありがとうございました。



コロナ禍で ビデオ通話の 孫の笑顔

「ご縁を大事に！」

島原商業高等学校 内田 伸也

島原商業高校は、昭和31年に島原高校から分離し、今年で創立65年を迎え、卒業数も14,773名を数えておりますが、その間、島原半島の人口は減少の一途をたどっており、現在の生徒数は、304名、今後も人口減少が予想されており非常に厳しい状況です。

本校の本館は、建築が昭11年、築86年で写真

にも掲載しておりますが、木造の廊下、事務室及び校長室、一部の特別教室について、内側は、木枠の窓、木枠のドアが現存しており、非常に味わい深く、どこか懐かしさが感じられるものです。

さて、事務長となりもうすぐ5ヶ月が過ぎようとしています。挨拶まわりから始まり、入学式、PTA関係等の様々な学校行事、コロナ対応等何も分からないまま、「多忙な日々」があっという間に過ぎてしまった気がします。私の場合、事務職員としての始まりが、

島原市内の小学校でありました。そちらで4年間、次に雲仙市(小浜町)の小学校に1年間の計5年間、島原地区でお世話になりました。ここでの経験は多くの失敗を含め、私にとっては、決して忘れることができません。その後、高校に異動したので、もう島原地区で勤務することはないだろうと勝手に思いこんでいたので、2年間ではありますがまた島原高校で勤務できたことや初めての事務長としての勤務が、島原地区の島原商業高校ということについて、何かの「ご縁」を感じざるを得ません。私は、この「ご縁」に感謝しつつ、「ご縁」を通じて知り合った人間関係を大事にしていきたいと思っております。

五島海陽高校に赴任して

五島海陽高等学校 畑村 幸洋



最初に五島海陽高校の紹介をさせていただきます。五島海陽高校は五島市にあります。五島市は平成16年8月の市町村合併によって旧福江市を中心として周

辺の5町が合併し、人口約36,000人を数え、農漁業を主要産業としています。本校が位置する旧福江市は、下五島地区の行政、経済の中心地として重要な役割を果たしています。本校は福江島のシンボルである鬼岳の風光明媚な裾野に位置し、眼下に市街地、開発めざましい福江港、遠くには杵島、久賀島など恵まれた環境にあります。そして、本校は長崎で唯一の離島の総合学科の高校です。総合学科では、自分自身の興味・関心や適性に合わせ、幅広い科目選択ができ、進路実

『初心に帰って』

佐世保南高等学校 田代 賢司

佐世保南高校に新事務長として赴任しました。学校の勤務は20年ぶり、朝が早いことや車で通勤すること等、生活スタイルや勤務環境が一変し、慣れるまでしばらく時間がかかり、適応力の無さを痛感する4月でした。

本校は明治41年に創設された佐世保中学校を起源として、昭和24年の建学以来73年、卒業生は3万人を超える伝統校です。また、学校敷地の真ん中を犬尾川が流れており、登下校時には川に架かる3つの橋を渡ります。河川が流れる光景は日々、季節を感じることができる自然豊かな環境です。校訓は「自彊自立」「和敬禮節」で生徒は礼儀正しく、あいさつが素晴らしいです。ユネスコスクールに認定されていることもあり、SDGsをテーマとした探究活動に積極的に取り組んでいます。

南高で勤務して私が驚いたことは、生徒が主体となって取り組んでいる学校行事が多いことです。例え

今年もコロナの収束が見通せず、今まで出来ていた「あたり前のこと」がなかなか出来なくなってきましたが、事務長一年目の「初めての経験」を貴重な時間と捉え、楽しく、前向きに取り組んでいきたいと思っております。



現に向けた授業を受けることができます。「人間力」を育てる地域密着型キャリア教育として1年次には「職業調査」「訪問インタビュー」「島内ふるさと調査」、2年次には「インターンシップ」「ライフプラン」「キャリア研修」、3年次には「学校での学び」と「企業での実践」のデュアル(二重)システムを行い、また進路実現のための「専門力」を育てる体系的系列学習として4つの系列に分かれ、専門的な学習を行っています。

さて、本校に赴任してから早いもので5ヶ月が過ぎようとしています。赴任前は10年前にも五島市内に居住していたこともあり、引っ越すことや単身赴任になることも特に不安はなく、釣りでもしてゆっくり五島を楽しもうと思っていましたが、とんでもない！やったことのない仕事が山のようにあり、毎日遅くまで仕事をするありさま。事務長の仕事を教えてくれる同僚が事務室にいるわけもなく、ただただ毎日過去の書類をまねながらの綱渡りの日々。前任者には毎日何度も電話をしまい申し訳なかったです。それでも、なんとかやってこれたのは事務室の皆さんや頼りになる先輩事務長さんの助けがあってこそです。今後とも皆さんのご指導を何卒よろしく願いいたします。

ば、7月末に開催したオープンスクールでは、生徒の皆さんが受付・案内から各教室での説明、中学生との座談会、質問への対応など、ほとんど教員が表に出ない形で実施されていました。また、8月9日の平和学習でも、有志の生徒の皆さんがピースアンバサダーとして企画、準備、運営に携わっていました。今の社会に求められる「主体的な行動」が培われていると感心するばかりです。

新任の事務長として、職場環境も大きく変化し、分からないことばかりですが、初心に帰って生徒の進路実現のために事務室サイドから何ができるのかを考えながら、私も主体的に行動していきたいと考えています。事務長の皆様にはお世話になるかと思いますが、ご指導の方よろしく申し上げます。



長崎県の近未来像

～NAGASAKI Revolution4.0～

県教育庁 教職員課長 上原 大善

8月5日付けの新聞で全国の人口が過去最大の48万人減、本県は1万4,746人マイナスとの報道を目にしました。

人口減少の要因は、自然減と社会減の2つの要因があります。自然減対策としては、結婚、妊娠、出産、子育てができる環境づくりが必要です。本県の社会減については、18歳から25歳で転出超過の約8割を占めており、進学や就職などを機に、県外に転出している状況となっています。

本県は現在、以上のような人口減少や地域活力の低下などの問題も抱えていますが、その一方で、新幹線の開業やIRの誘致など、まちの佇まいや産業構造が大きく変わろうとしており、まさに100年に1度の変革期を迎えています。

この変化を県では「長崎県の近未来像」として資料を作成しています。今回はこの内容の一部について触れたいと思います。

【まちが変わる】

現在、県内では、新幹線開業やIRの誘致、国際クルーズ港の整備など、様々な大型プロジェクトが進んでおり、それに伴い「まち」が大きく変わろうとしています。

まず、九州新幹線西九州ルートが、いよいよ来年秋に開業します。武雄温泉駅で新幹線と在来線特急を乗り換える「対面乗換方式」となり、長崎～博多間の最速の所要時間は、現在の1時間50分から1時間20分に短縮されます。長崎・諫早・大村の各新幹線駅の整備も進んでおり、駅周辺では大規模な開発が進められており、県ではこの開業を地域活性化の大きなチャンスと捉え、官民一体となって開業効果を拡大するための準備が進められています。

次に、IRの誘致が佐世保地域では進められています。IRとは、国際会議場や、展示場、宿泊施設等のエンターテインメント施設にカジノを含んだ複合施設であり、全国で3箇所を上限として認定が行われる見込みとなっています。IRの整備は交流人口の拡大等により地域経済に大きなインパクトをもたらす、新たな雇用創出、ひいては定住人口の増加につながるもの

であり、県政浮揚のチャンスと捉えられています。IRの整備の効果としては、集客が最大で年間930万人、経済波及効果は運営に係るもので最大4,200億円、雇用創出効果は最大3万6千人を想定しています。

【産業構造が変わる】

長崎県では、産業の大きな変化が起きています。半導体産業は順調に拡大しており、本年4月にソニーの基幹工場の増設等が竣工し、今回の増設により千人規模の雇用につながると期待されています。

AI・IoT・ロボット関連産業は、様々な産業の生産性や付加価値の向上を支える成長産業の一つです。本県では、長崎県立大学における全国初の情報セキュリティ学科の新設や長崎大学情報データ学科の新設など、情報系人材の教育環境が整備されるとともに、富士フィルムソフトウェア、京セラコミュニケーションシステム等、日本を代表する情報サービス系企業の研究・開発拠点が立地してきています。

航空機産業分野では、三菱重工航空エンジン長崎工場が昨年11月に完成し、エンジンの中でも中核となるような部品を製造する工場として期待されています。また、県では、航空機産業クラスター協議会を立ち上げ、支援しており、中小企業が造船で培った高い金属加工技術を活かし、航空機産業へ参入しています。

脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーの導入拡大が期待される中、本県では海洋エネルギー関連産業を新たな基幹産業とする取組が進められています。令和元年12月には、再エネ海域利用法に基づき、五島市沖が全国第1号で促進区域に指定され、西海市江島沖についても、有望な区域に指定されています。県では、海洋エネルギー関連産業の拠点形成を図るため、分野毎の共同受注体制の構築やサプライチェーンの構築に重点的に取り組んでいます。この他にも、県

内各地で様々なプロジェクトが進行中です。この「変わりゆく姿」を県内の若者にもっと知ってもらいたいと思います。



(於：新大村駅)

長崎県の近未来像

検索

是非見てください!

編集後記

平成9年3月に事務長会報「ばってん」の創刊号が発行されてから四半世紀が過ぎようとしている令和3年10月、節目となる「第50号」を無事に発行するできました。コロナ禍の中でも、快くご寄稿いただきました上原教職員課長様をはじめ7名の皆様には、心から御礼を申し上げます。

この編集後記を書くにあたって、創刊号の編集後記を読み返してみました。私が若かりし頃に大変お世話になった島原地区の大先輩であるT事務長が『標題の「ばってん」は全国に通じる長崎のイメージと事務職員が学校運営の円滑化に努

力し勤勉な姿を表現した「ばってん頑張ろう」の意をこめてつけられた』と書かれていました。

新型コロナウイルスの感染が全国に広がり終焉が見通せない中で、体育祭や文化祭などの学校教育活動が大きく制限され、生徒の顔から笑顔が消えつつあります。今こそ、事務長そして事務職員が「ばってん頑張ろう」の意気込みで学校運営に参画し、教職員一丸となって明るい未来に向けて進んでいきましょう。

(I・A)